

2018 年度行動文化論ゼミ合宿

行動文化論ゼミ（社会心理学）では、ゼミ生一人ひとりが地域の多様な現場に飛び込み、人びとの営みに密着しながらフィールドワークを行って卒業研究を仕上げます。この度、当ゼミでは、9月29日～30日の日程で、千葉県成田市および香取市にて14名のゼミ生全員が参加してのゼミ合宿を実施しました。そのおもな内容は、3年生の研究テーマの報告（4年生については別日程で実施）および地域見学です。地域見学のねらいは、成田市に建立する成田山新勝寺の見学や、佐原の町並み散策を通して地域の方々との交流を図り、その土地の歴史や生活について学ぶことでした。

合宿の実施にあたっては、4年生2名の幹事を中心に学生主体で、行き先の選定、スケジュール作成、切符の手配や宿の予約、当日の進行、そして終了後の会計報告という一連の作業を担いました。大型台風が接近中というあいにくの天候ではありましたが、おかげさまで充実の合宿となりました。以下に、幹事2名の感想を紹介します。

○ゼミ合宿をふりかえって 糸賀可菜子

合宿初日には、三年生が研究構想の発表を行い、ゼミ生全員でその内容を深めることができました。二日目に訪れた佐原では天候が危ぶまれる中でありましたが、皆で立ち寄った土産物店で気さくな店主の方とお話をしたり、お煎餅をごちそうになることができました。また佐原の地で、80歳になるおじいさんが今も一人で作り続けているというさつまいものジェラートをいただくこともできました。地元の方々の温かさやその歴史に触れ、貴重な経験ができたと思います。

○幹事を務めて感じたこと 酒井麻里奈

今回の合宿は台風の影響で本来の予定を変更せざるを得なくなりました。天候を鑑み、いくつかのプランを予め立てておくことでよりスムーズに合宿を進行できると思いました。成田・佐原の街歩きでは、古い町並みを見ながらその土地で有名なものを食べたり、地域の人々と交流することができました。佐原では地元のボランティアガイドの方に街を案内していただき、より地域への理解が深まりました。合宿の幹事を務めたことで、情報伝達や計画の重要性について身をもって実感し、とても良い経験になりました。

末筆ながら、今回のゼミ合宿を実施するにあたり、学部後援会のご支援を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

担当教員：石井宏典



写真 1. 成田山新勝寺前にて記念撮影



写真 2. 雨の中、
成田山新勝寺参道
を散策



写真 3. 佐原の古い町並みを散策



写真 4. 小野川沿いにある伊能忠敬旧宅に
て伊能忠敬像と記念撮影